

ぶん しょ かん つう しん

文書館通信

東御市文書館

2号

令和2年1月



☎東御市文書館直通 0268-67-3312
文書館のメールアドレスができました。

bunshokan@city.tomi.nagano.jp

ご利用ください。

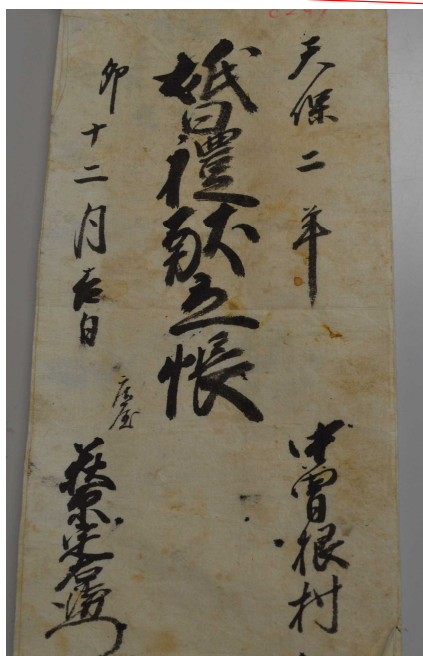


本年も宜しく
お願いします



南天（なんてん）には、難（なん）を
転（てん）ずる。と言う意味からお正
月の縁起物とされています。

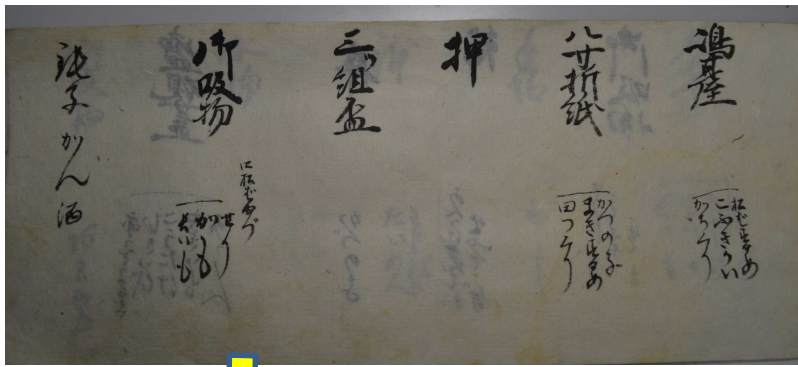
新しい年を迎えて
おめでたい江戸時代の古文書をご紹介します



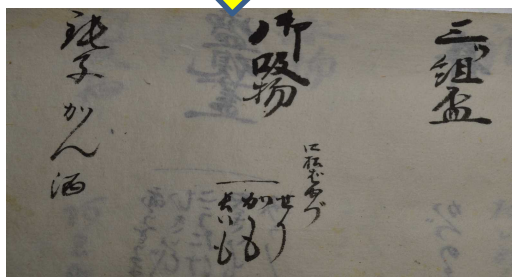
目録No.904-1

卯 ^う	天 ^{てん} 保 ^ぽ 二 ^に 年 ^{ねん}	中 ^{なか} 曾 ^そ 根 ^ね 村 ^{むら}
十二月吉日	婚 ^{こん} 禮 ^{れい} 献 ^{こん} 立 ^{だて} 帳 ^{ちよう}	
荻原定右衛門	庄屋	

これは、中曾根村庄屋荻原家に伝わる天保二年（1831）の結婚式でふるまった料理の
献立表の表紙です。庄屋を取りまとめていた大庄屋の婚礼では一体何を御馳走していたので
しょうか。表紙をめくって中を覗いてみましょう。



表紙は縦長ですが、中身はこんな風に横長に書かれている物が多いです。「横長半」「横帳」など色んな呼び方がありますが、一枚の紙を下から折って使っています。

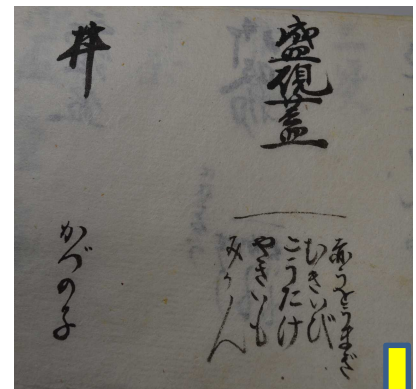


三ツ組盃
御吸物 下には具材が書いてあります。
せり・かも・長いも のお吸物だと判ります。
鉾子 かん酒

この帳面は全部で12ページありますがそのうち10ページに、献立と食材が書かれています。

今は式場での結婚披露宴が一般的ですが昭和の中頃まで、自宅での結婚披露宴を執り行った家もありました。

江戸時代には、何日も宴を催したと言われますが、この荻原家文書の中には「御吸物」の文字が4箇所あり、全て具材が異なります。盛硯蓋（もりすずりぶた）とは、硯箱の蓋に口取肴（くちとりさかな）と呼ばれる、おもてなしの料理を盛り、お吸物と一緒に最初に出す料理です。



盛硯蓋 赤うをうまぎ（赤魚うま煮）
むきいび（むき海老）
こうたけ（香茸）
やきいも（焼き芋）
みかん
井 かづの子（数の子）



どうですか、皆さんのお宅のお正月料理と、どこか似ていませんか？

荻原家文書には、村の様子や当時の社会の様子が判る古文書もたくさんあります。

これからもご紹介しますので、楽しみにしてください。

また、江戸時代の古文書を見て触ることもできますので、ぜひ、文書館にお越しください。



<土偶展>が終了しました。
市内をはじめ県内外の多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。



開館曜日：月曜日～金曜日
開館時間：午前9時～午後5時

文化財展示室の土器や石器は、常設展示しておりますのでいつでもご覧いただけます。開館時間内にお出かけください。

